

第3章

計画の基本的な考え方

(中扉・裏)

【基本理念】

子どもの健やかな成長を みんなのやさしさで支えるまち 習志野

子どもは、未来をつくる存在であり、次代の社会を明るくする希望の光です。こうした中で、子育てとは、本来、子どもに限りない愛情を注ぐ尊い営みであり、父母その他の保護者がまず担うべきものです。

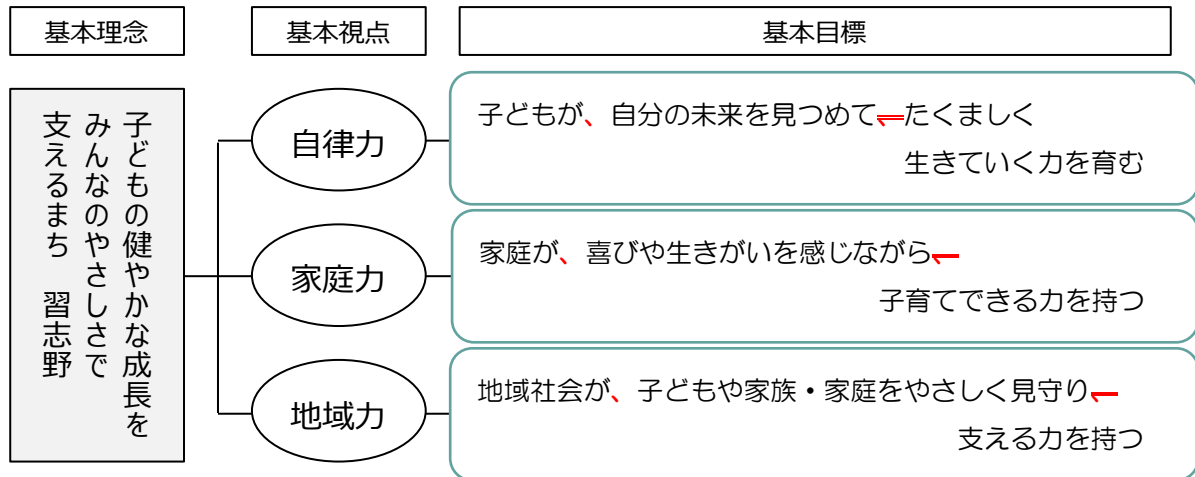
しかしながら、子育て中の家庭が置かれている環境は大変厳しく、核家族化の進行等によって日々の子育てに対する助言、支援や協力を得ることが困難である家庭や、仕事と子育ての両立に困難を感じている家庭は多く、子育ての負担や不安、孤立感が高まっている状況です。さらに、個人の意識やライフ・スタイルの多様化等から、子育て家庭のニーズは多様化・複雑化しています。また、アレルギーや発達課題、障がい、虐待、貧困など、特に支援を必要とするケースが増えています。

そのような中で、未来を担う子どもたちは、家庭や地域において人と人とを結ぶかけがえのない存在です。子どもの健やかな成長を支える営みは、子ども、親（保護者）、地域の人々が共に係わり、共に育ち合い、共に支え合うことで実現できるものです。それがやさしさにあふれるまちづくりとなり、市民一人ひとりの幸せにつながるものと考えます。

本市では、~~特に支援が必要な子ども・家庭を含め、すべての子ども・家庭に対して、個々に応じた適切な支援の提供を図ることで、誰もが社会に必要なメンバーとして尊重され生活できる~~「社会的包容（ソーシャル・インクルージョン）」^{※1}をめざします。~~の観点のもと、~~すべての子どもの健やかな成長を実現するために、行政、NPO、ボランティア活動団体、企業、学校、町会・自治会など多様な主体が子育て支援の担い手となり、その目的を共有して、子育てを通じて喜びや生きがいを共感することができるよう努めます。また、子どもが安心して育まれるとともに、子どもが集団の中で育ち合うことができるよう、市民、市民活動団体、企業・学校等、「みんなのやさしさで子どもやその家族を支えるまち」づくりに取り組んでまいります。

※1 ソーシャルインクルージョン…全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うこと

計画策定にあたっての基本視点及び基本目標として、本計画では以下の3項目を掲げます。



【基本視点・目標】

自律力 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む

子どもは、未来を担う輝かしい光です。一人ひとりの子どもが、愛され、個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることは、社会を構成するすべての人の役目です。また、子どもの年齢・発達の程度に応じてその意見が尊重され、子どもの最善の利益が保障されなければなりません。その上で、一人ひとりの子どもが、生涯をたくましく生きるためには、子ども自身の力で物事を行う「自立力」に加え、自分や周りをコントロールし、自分を律する「自律力」が必要です。

この二つの力は、子ども自身が、人と人とのやさしさのつながりのなかで、命の大切さを知り、人を思いやる心を持ち、他者の存在を認めながら、ありのままの自分を大切にすることで、育まれるものであり、自分の未来を信じ、たくましく生き抜く原動力になります。そこで、本計画では、子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力＝「自律力」という視点をもって策定します。

家庭力 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ

親には子育てについての第一義的な責任があります。

家庭は、子どもが初めて出会う一番小さな社会であり、家庭には子どもがひとり立ちするために、病気や事故などの災いから養護する機能と言葉や知識・技能などを伝達する機能があり、これらの機能は子育ての営みの中で、親から子へ引き継がれ、地域社会の中で支えられてきたものです。

しかし、現状は、核家族化や地域社会の希薄化により、子育て家庭を孤立化させ、子育てに対する負担感や不安感が増し、ネグレクトを含む子どもへの虐待など、子どもの命にもかかわる重大な状況となっています。

子育ては本来、子どもの存在に感謝し、日々成長する子どもの姿に感動して、親も親として成長することができる尊い営みです。この営みを親自身が、喜びや生きがいを感じながら、自分らしく担うことができるために、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない、様々な支援を進めることが重要です。

そこで、本計画では、家庭が喜びや生きがいを感じながら、子育てできる力＝「家庭力」という視点をもって策定します。

地域力 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ

地域や社会が親に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、親自身が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整えることができる支援が重要です。

子育て支援を行っているNPO等による活動や、ファミリー・サポート・センターなどの市民による相互システム等が徐々に浸透してきています。

さらに、子育てを経験した大先輩ママ・パパによるあたたかい見守りや、支援の輪を広げることで、自分の地域で子どもや親が安心して生活し、一人にならない子育てを営むことが可能となります。

こうした人と人とのやさしさのつながりが、全ての人々の元気の源となり、地域全体の活性化につながると考えます。

そこで、本計画では、地域社会が子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える力＝「地域力」という視点をもって策定します。

3

施策体系

基本理念 子どもが健やかな成長を、みんなのやさしさを支えるまち 習志野

基本視点

基本目標

自律力

1 子どもが、自分の未来を見つめてたくましく生きていく力を育む

基本方針	基本施策	重点事業
1-1 教育・保育の機会の確保	①基本的な教育・保育事業の整備	(1)待機児童対策 (保育所等) (2)待機児童対策 (放課後児童会)
1-2 子どもが健康でたくましく 成長できる教育・保育環境 の充実	①保育・学校教育環境等の整備 ②体験活動の機会の充実 ③次世代の意識づくり	
1-3 子どもが安全・安心に暮ら せる環境の充実	①施設環境の充実 ②親と子どもにやさしい外出環境の整備 ③防犯・防災対策の推進	

家庭力

2 家庭が、喜びや生きがいを感じながら子育てできる力を持つ

基本方針	基本施策	重点事業
2-1 安心して妊娠・育児ができ る一貫した支援の充実	①親と子どもの健康支援の充実	(1)在宅家庭も含めた預 けやすい環境 (一時保育・預かり保育) (2)虐待の予防、早期発見 と対策、防止 (3)子どもの貧困対策
2-2 すべての家庭が安心して子 育てができる環境の充実	①子育てに関する相談窓口・情報提供の充実 ②多様なニーズに応える保育サービスの充実 ③子育て家庭の経済的負担の軽減 ④ひとり親家庭への支援 ⑤特に支援が必要な子どもに対する支援の充実 ⑥障がい児施策の充実	
2-3 家庭の教育力の向上	①家庭教育の支援の充実	

地域力

3 地域社会が、子どもや家族・家庭をやさしく見守り支える力を持つ

基本方針	基本施策	重点事業
3-1 地域における子育て・子育 て支援拠点の整備	①地域における子どもの居場所づくり ②地域における子育て支援の拠点づくり	(1)放課後の居場所づくり
2-2 地域における多様なネット ワークの活用と充実	①世代間交流の推進 ②地域の人材の知恵や経験を活かす活動の推進 ③地域における子育て支援の充実 ④企業における子育て支援対策の促進	